

---

## cutter 3

新品の靴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

c u t t e r 3

### 【Nコード】

N 7 3 7 0 N

### 【作者名】

新品の靴

### 【あらすじ】

「みんなに自慢するためよ。」

「みんなに自慢するためよ。」

彼女は冷たく言い放った。

「自慢？」

「そう、自慢。私はこんなにも傷ついてるの。すごいでしょって。」

「すごいって言ったって……でもそこまでしなくても……」

「ううん、する必要がある。手首だけだとあまり分からないからね。インパクトが必要なの。」

違う。

「それで……周りの人たちは？」

「そりゃあ痛々しい目で見えるよ？まあ変な目でも見られるけどね。だって両腕包帯グルグルたもんね」

そう言って彼女は少し悲しそうに笑う。

それ以上の救いはなかったということか。

……たぶん最初は小さな傷から始めたんだろう。  
でも誰も気づかなかった。

もしくは気づいても誰も手を差し伸べなかった。

彼女はそれを傷のせいだと思ったんだ。

傷が小さすぎて誰も気づいてくれないのだと。

だから次は前回よりも長く切った。

それでも周りは気づかない。

そしてある日彼女は気づく。

どれだけ傷が大きくなっても、誰も手を差し伸べてくれないのだと。

どれだけ自分が傷ついてても、誰も気に掛けないのだと。

「違う……」

「え？」

「あなたは自慢するために切ったんじゃないんでしょう？誰かに救ってほしかったんでしょう？だから切ることで必死に叫んだ。私を救ってくださいって。」

「その傷は、あなたの叫びなんでしょう？」

「……と彼女の頬に涙が伝う。」

ひつく。

彼女はしゃくりあげて泣きだす。

「ずっと……寂しかったんだもん……。でも、友達なんかいないくて、親もかまってくれなくて。私……私どうしたらいいかわかんなくて……。」

「うん」

「そんなときに、通り魔の噂を聞いて、その人が女子高校生らしいって聞いたから……。もしかしたら、その人も私と同じなのかもしれないって思っで。」

「……え？」

ふふ……と彼女は柔らかく笑う。

「あなただって叫んでたじゃない。人を切ることによって。助けてくださいって。でも幸か不幸か、あなたは捕まらなかった。だからどんどん人を切って行った。自分自身を救ってもらいたいが為にね。」

そうか・・・そうなのかもしれない。  
どうしてあたしは人を切りつけてたのか。  
その根本的な原因。  
どうして彼女は自身を深く傷つけたのか。  
その根本的な原因。

結局、二人とも孤独だったんだ。  
手を差し出してくれる人もいなくて。  
傷を溜めたまま、一人で家へ帰る毎日。

あふれ出た孤独は、たがいを引き付けあうんだろうか。  
お互いの救いを求める声が、私たちを会わせてくれたのかもしれない。

「傷、もし作ったらあたしのどこに来てね。」

「え？」

「あたしがちゃんときれいに消毒して包帯巻いてあげるから。あなた巻くの雑すぎ。」

「え・・・。いいの？」

「いいに決まってるでしょ。いつでも家に来てもいいから。」  
唇をぎゅっと結んで涙をこらえる彼女。

「じゃ・・・じゃあその代わりに人を切ったら私のところに懺悔しにくること！」

「ぷ・・・何それ。あたしもう人は切らないよ。」

「え・・・？」

「切る必要がなくなっただしね。」

「じゃ・・・じゃあ・・・。」

「そのかわり」

「？」

「そのかわり、あなたの家に行ってティッシュギッタギタにする。」

「ぶっ・・・なにそれ」

「いいからあなたの家行くし。」

「いいよ。いつでも来てね。」

何かが溶けていく音がする。

それはあたしの凍った心か。

それとも彼女の凍った心か。

・・・両方だろう。

電車で揺られながら、私たちは眠りに落ちていく。

やっと居場所が見つかった

おわり

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7370n/>

---

cutter 3

2010年10月11日03時17分発行